

DX協創プロジェクト

参加企業・参加団体募集

- 複数の企業同士でコミュニティを形成し、共通の課題を抽出
- 課題解決と変革を通じて地域産業の発展と未来への継承を目指します

募集内容

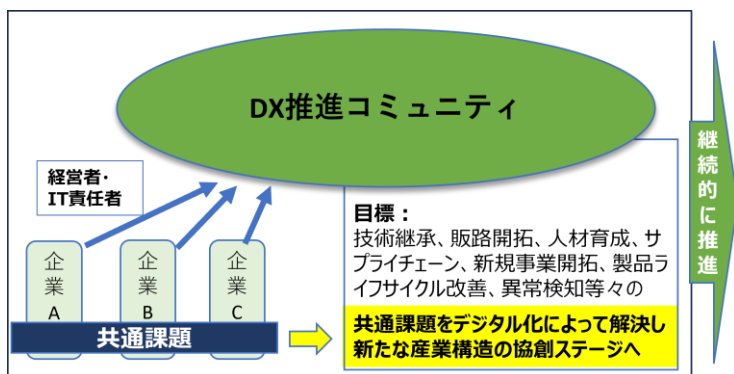
DX協創プロジェクトでは、研修やワークショップ、マッチング等を通して、参加業種の共通課題をデジタル化によって解決・発展させる「DX推進コミュニティ」の形成に協力して主体的に取り組もうとされる企業・団体を募集します。

■プロジェクト責任者



岡本 史紀（おかもと しき）
一般社団法人IoT・M2Mフォーラム代表理事。
芝浦工業大学名誉教授（工学博士・機械工学）。
産学連携に積極的に関わり、新潟県でも「にいがた起業塾MoTコース（2004年）」企画を担当。
現在は、企業のDX推進、IT化・AI等をテーマにした学び合いの場の提供に努めている。

■DX協創プロジェクトのイメージ図



募集対象

- ・ 新潟県内に事業所を有する企業の経営者様およびIT責任者様（原則上記2名でご参加ください）
- ・ 業種は指定しません。全体で3業種を募集します。
- ・ 原則1業種あたり3社以上でお申込みください。

スケジュール

全体会議、成果報告会には参加者全員が参加、業種別会議、研修会、事例視察は参加者が決まり次第、日程調整して決定します。

7月13日～ 8月29日	8月30日	9月21日	10月～ R6年1月	2月上旬
参加者募集 ガイダンス (8月7日～随時)	全体会議 基調講演※裏面参照 事例講演 ワークショップ ①	業種別グループ 会議 事例講演 ワークショップ ②	研修会 全5回 先進事例視察 全4件	成果報告会 ※裏面参照

参加費用

無料

お申し込み方法

- ・ 右のQRコードまたはリンクから募集要領・申込フォームをご確認ください。
- ・ 応募締め切り：定員に達し次第締め切り

お問合せ：

DX協創プロジェクト 運営事務局
(一般社団法人IoT・M2Mフォーラム内) 松井 dxniigata2023@iot-m2m.jp

詳細情報はこちら！



<https://www.nico.or.jp/sien/seminar/66819/>



講演予定情報

8/30 全体会議 基調講演

タイトル	DX推進コミュニティ、アイデアをビジネス変革につなげる（仮題）
講師	早稲田大学教授 稲田 修一 氏
本講演の役割と期待	総務省の2017年地域ICT生産性向上支援事業で採択された石川県加賀市にある（一社）山中漆器コンソーシアムが、デジタル活用によるサプライチェーン効率化に取り組んだプロジェクトの事例など、コミュニティ形成を通し、アイデアをビジネス変革につなげるDXの要について詳説する。



講師経歴：

総務省にて近畿総合通信局長、大臣官房審議官等を歴任し、モバイル、セキュリティ、情報流通などの政策立案や技術開発・標準化業務に従事。2012年に東京大学先端科学技術研究センター特任教授としてIoT/データ活用によるビジネス革新や価値創造について研究。2019年より現職。

2月上旬 成果報告会 統括講演

タイトル	DX推進コミュニティのものづくり戦略（仮題）
講師	東京大学名誉教授・早稲田大学教授 藤本 隆宏 氏
本講演の役割と期待	講演者は、東京大学経済学部教授、東京大学ものづくり経営研究センター長当時より、地方の中小企業の現場に密着した立ち位置で日本の産業戦略のあり方を語ることに多くの方が大変注目している。新潟県では、長岡地域で長年ものづくりインストラクター関連での協力、また燕市の構想フォーラムにも参加、新潟市でも調査研究を進められている。2021年より早稲田大学へ移られ、前述の研究も継続されている。



講師経歴：

三菱総合研究所、ハーバード大学博士課程を経て、1990年～2021年東京大学経済学部助教授・教授。2003年～2021年東京大学ものづくり経営研究センター長。2021年4月より現職。